

# セックス・アンド・ザ・シティ

2008(平成20)年6月13日鑑賞(試写会・リサイタルホール)

★★★



## 第1章

シリーズものからコミックの映画化まで

監督・脚本・製作＝マイケル・パトリック・キング/出演＝サラ・ジェシカ・パーカー/キム・キャトラル/クリスティン・デイヴィス/シンシア・ニクソン/クリス・ノース/ジェニファー・ハドソン/デヴィッド・エイゲンバーグ/ジェイソン・ルイス/エヴァン・ハンダー (ギャガ・コミュニケーションズ配給/2008年アメリカ映画/144分)

……アメリカで人気のTVドラマが遂に映画化！ 2つのL (LABEL + LOVE) も大切だが、S (SEX) の大切さはそれ以上……？ 4人のニュー YORKERたちの本音の議論と、本音の生き方から学ぶことは多いはず。もっとも、これを映画の世界と割り切るのか、それともホントにこんな生き方を目指すのかは、あなた自身の選択の問題だが……。

## 全米大ヒットのTVシリーズが映画化！

日本では今『相棒—劇場版—』(08年)が大ヒットしているが、これは長年続いていた人気TVドラマシリーズを満を持して映画化したもの。それと同じように、1998～2004年に全米で放送されて大ヒットし、毎年のように賞を受賞した、女性に大人気のTVシリーズ『セックス・アンド・ザ・シティ』が遂に映画化！ そして8月には遂に日本へ上陸することに！

## 「アラフォー」のトレンドの先取り……？

日本では今、「アラフォー」という言葉が大流行……？ これは08年4月から始まった金曜ドラマ『Around40』から生まれた言葉で、40歳前後の女性を指す言葉。昔は40歳の女性といえば「おばさん」というイメージしかなかったが、天海祐希扮する39歳の独身精神科医緒方聡子を見れば、ととてもとても。ひと昔前の「いいオンナ」だった、キョンキョンこと小泉今日子やミポリンこと中山美穂たちも今や輝くアラフォー……？



© MMVIII New Line Productions, Inc. Sex and the City(tm) is a trademark of Home Box Office, Inc. All Rights Reserved.

そんなドラマ『Around40』は、結婚・出産・専業主婦では収まりきらない、新たな女性の生き方を模索する大きな社会的潮流の中で生まれたもの。しかして、アメリカで1998年から始まったTVドラマ『セックス・アンド・ザ・シティ』は、そんなトレンドを先取りしたもの……？

## 主人公は4人の輝くニュー Yorker！

この映画は詳しく紹介すればキリがないので、私流のいくつかの視点だけを紹介しよう。

まず、4人の主人公は次のとおり。①セックス・コラムニストのキャリー・ブラッドショー（サラ・ジェシカ・パーカー）、②PR会社社長のサマンサ・ジョーンズ（キム・キャトラル）、③弁護士のミランダ・ホップス（シンシア・ニクソン）、④アートディーラーのシャーロット・ヨーク（クリスティン・デイヴィス）。

今回の映画版では、キャリーとその恋人ビッグ（クリス・ノース）との結婚と別れ、そしてハッピーエンドがメインストーリー。そしてサブストーリーが、たった1度の

浮気を打ち明けた夫スティーブ（デヴィッド・エイゲンバーグ）と、それを許せず息子と共に家を飛び出したミランダとの和解の行方。他方、この2つのストーリーに少しずつ絡むのが、今は恋人スミス（ジェイソン・ルイス）のために尽くしてばかりのサマンサの苦悩と、夫ハリー（エヴァン・ハンドラー）との間で思いがけない妊娠をして喜ぶシャーロットのストーリー。

TVドラマなら1話ごとに誰かをメインにしてストーリーを組み立てればいいが、1本の映画で4人の主人公をどう扱い、全体としてどうまとめるかは非常に難しい。したがって、これだけのストーリーを2時間24分で要領よくまとめたのはさすが。「どうしてこんなハッピーエンドに？」などと野暮なことを言わず、観客はニューヨークで美しくかつたくましく生きていく彼女たちの生きざまを応援し楽しまなくっちゃ……。

### 本音！ 本音！ 本音！ それが人気の秘訣

「女3人寄れば姦しい」のだから、4人も寄ればさらに姦しいのは当然。他方、「女の友情は成り立たない」との説もあるが、この4人の「女の友情」はかなり強固そう……？ 姦しいと感じるのは本人たち以外の人間だから、本人たちはおしゃべりに満足していればそれで十分。そして、1998年から一貫してずっと4人の友情が保たれている秘訣は、きっと何ゴトも本音でしゃべっていること。女も30歳を過ぎ、さらに40歳を超えれば、たくましく（厚かましく？）なるのは当然。また、女だって性欲があるのは当然だから、それがだんだん露骨になってくるのも当然。

このTVシリーズの2つの「L」は、LABEL（肩書き）とLOVE（愛）だが、実は大ヒットしたホントの理由はL以上にS＝セックスを真正面から大切なテーマとして掲げ、4人のニュー Yorker たちの赤裸々なセックスライフを女性視聴者に提示したことにある。本音！ 本音！ 本音！ それがTVドラマの人気の秘訣だが、とりわけセックスライフに関するあけすけな4人の会話がこのTVドラマの特徴。そんなセックスを核とした本音のトレンドは、この映画でもしっかりと……。

### 最近、直前のキャンセルが多いが……？

映画『卒業』（67年）は、まさに結婚式を挙げようとする直前に教会に駆け込み、花嫁を奪っていくシーンが観客の目に焼きついたが、最近はそのような直前キャンセルの

映画が多い。5月14日に観た『幸せになるための27のドレス』(08年)も、5月23日に観た『近距離恋愛』(08年)も「花嫁付添い人」が登場したが、このいずれも、直前に結婚式がキャンセルされるのが特徴……? また、5月23日に観た『たみおのしあわせ』(07年)も、実に奇妙な父子の愛情のため(?)そんな結果に。すると、『セックス・アンド・ザ・シティ』におけるキャリアとビッグは……?

## キャリーとビッグの論点は?

TVドラマでは、ビッグはキャリアと長年くっついたり、離れたりをくり返してきたキャリアにとって理想の男性だが、結婚となると話は別。今、すばらしい物件をビッグが購入し、そこで一緒に住もうという話が進んでいたが、そこで「もし、2人が仲違いしたら、私はどうなるの?」とキャリアが考え、不安になったのは当然。だって、結婚せず単なる同棲であれば、その場合キャリアはビッグの家から出ていかなければならなくなるのだから。

このように、キャリアとビッグの論点は同棲のままがいいのか、それとも結婚して籍を入れた方がいいのかということだが、その点の詰めは不十分。ところが、そんな不安を口にする中、ひょうたんからコマ状態で一挙に「結婚」でオーケーとなったから、人生ってわからないもの。

しかし、ホントに2人の論点は煮詰められたの? それが私には大いに不安。しかしてそんな不安どおり、ウェディングに向けてイキイキと輝きながら着々と段取りを進めていたキャリアは、式の直前にビッグから「やはりできない」とケータイで言われてしまうことに……?

## ミランダとスティーブの論点は?

ミランダとスティーブの論点は明確。つまり、夫のたった1度の浮気くらい許してやれないのか、ということ。「それくらい許してやれよ」というのが99%の男性の意見だし、彼女の3人の親友の意見もそれに近いもの。たったそれだけで、家出、没交渉はないだろうと私も思ったが、ミランダは意外と頑固。

そんなスティーブとの関係にイライラしているミランダが、キャリアの結婚式の前日、ビッグに対して思わず口にした「結婚なんて最悪」というひと言が、ビッグの意思に何らかの影響を及ぼしたの……? ミランダとスティーブの論点自体は単純だが、

それがキャリアとビッグの論点に影響を及ぼしていくところが、この映画の脚本の面白いところ……？

## 女4人寄れば……

映画中盤は、直前の結婚式の中止に大ショックを受けたキャリアを3人の親友たちが慰める物語が中心だが、その3人にもそれぞれ家庭の事情が……。そんなニューヨークの「アラフォー」4人（もっとも、50歳の誕生日を近々迎えるサマンサはもうすぐ仲間外れ？）の頑張る姿を、世の女性たちはしっかり学びたいものだ。そして映画終盤は、新婚旅行として予約していたメキシコへの旅に、気分転換とばかりに4人の女たちが出かけていったために引き起こすさまざまな珍騒動が中心。サマンサの下痢騒動(?)やミランダのおケケ騒動(?)など、面白いエピソードがいっぱいだから、あなたもセレブなメキシコ旅行に一緒に行ったつもりで楽しまなくっちゃ……。

## 大団円に向けた歩みは……？

ミランダとスティーブの仲直りは、ほぼみんなの予想どおり。しかし、そこで観客に示される大サービスは、久しぶりに2人が交わす熱いベッドシーン……？ また、LAの海辺に住み、恋人スミスとのマネージメントに徹していたサマンサは、隣の部屋で夜な夜な展開される若くてハンサムな男によるアダルトビデオまがいの悩殺シーンに悩まされていたが、今やっとスミスにも別れを告げて、すべてが吹っ切れたよう。また、無事女の子を出産したシャーロットは、今や幸せの絶頂に。そんな中、パーソナルアシスタントとしてルイズ（ジェニファー・ハドソン）を雇い、引っ越しから荷物の整理を終えたキャリアは、やっとあの大きなショックから立ち直ることができた様子。

さあそんな中、アッと驚く大団円に向かって秒読み状態だが、そんなハッピーエンドってあり……？ キャリアとビッグの仲の再度の修復、そして再度の結婚式というハッピーエンドは常識では考えられないものだから、それには当然賛否両論が……？ しかし、すべての女性に勇気を与えるためにこんな人気TVドラマを映画化したのだから、それくらいは大目に見なければ……？ その直前に展開される、すべての女性憧れのファッションショーを楽しみながら、あなたもそんな想定外のハッピーエンドに拍手を！

2008(平成20)年6月14日記